瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター 平成11年11月22日 第34報

植物プランクトン

	(綱) 種 名	細胞数	優占種(占有率)	
		(群体数)	数	体積
(藍)	Aphanizomenon sp. *	770		
(黄鞭)	Kephyrion sp.	40		
(黄鞭)	Pseudokephyrion gallicum	10		
(黄鞭)	Chromulina sp.	10		
(珪)	Melosira granulata	220		
(珪)	Melosira granulata var. angustissima	41		
(珪)	Melosira granulata var. angustissima f. spiralis	34		
(珪)	Cyclotella sp.	30		
(珪)	Fragilaria capucina	63		
(渦)	Peridinium berolinense	10		
(褐)	Cryptomonas sp.	60		
(褐)	Rhodomonas sp.	320		
(緑)	Closterium aciculare var. subpronum	14		
(緑)	Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum	74		
(藍)	藍藻綱	770	45.4	54.8
(黄)	黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭)	黄色鞭毛藻綱	60	3.5	0.3
(珪)	珪藻綱	388	22.9	5.5
(渦)	渦鞭毛藻綱	10	0.6	0.0
(褐)	褐色鞭毛藻綱	380	22.4	2.3
(み)	みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑)	緑藻綱	88	5.2	37.0
(他)	その他のプランクトン	0	0.0	0.0
	総 細 胞 数	1696	総体積	6.7E+06
	種 類 数	14	(μm^3)	3.7 E 100

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml) ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種 数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から 試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

	第	1	優	占	種		個体数 (個体 / I)
輪虫類	Polyarthra vulgaris				260		

	第	2	優	占	種		個体数 (個体 / I)
繊毛虫類	Tintinnopsis cratera					180	

^{*}個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種



Aphanizomenon flos-aquae (アファニゾメノン) 転藻綱

細胞は円筒形で、たてに繋がり糸状の 群体を作る。群体の両端の細胞は長く 伸びかつ、白色化する。ヘテロシスト、 アキネートを持つ。多数の群体が束の 様に集まる。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris (ハネウデワムシ) 輪虫類

体は四角〈、横に鳥の羽状の付属物が 4ヶ所付いている。 前部に2本の触角がある。

コメント:

植物プランクトンは、アファニゾメノンが再び増加して優占種となった。アファニゾメノンは耐久胞子で越冬する。耐久胞子は、春先に芽ばえて短い糸状体となり、急速に成長分裂し、糸状体の束を形成する。ヘテロシストは後になって形成される。束になった状態で糸状体は長い間存在し、多くの場合において大量に発生する。末期に2,3の糸状体に耐久胞子が発生し、短時間に糸状体は崩れ、耐久胞子が遊離する。